

# 環境情報

回 覧

平成 28 年 3 月

江南市役所 環境課

TEL 54-1111 (内線 407)

## ～「生ごみダイエット」を始めましょう！～



平成 27 年度 4 月から 1 月までの家庭系可燃ごみ収集量は、約 12,547 トンで、26 年度同期間との比較では、わずかな減少(約 7 トン)が見られるものの、ほぼ横ばいの状況となっています。

このため、より一層のごみ減量を進めることを目的として、「**生ごみダイエット**」の取り組みを推進します。取り組みの内容は、市民の皆さんに“生ごみの水切り”等を実践していただくこととし、全市を挙げて、ごみの総排出量の抑制を目指すものです。

生活の中で取り組める「生ごみダイエット」には、買い物や調理を工夫する方法もありますが、**まずは“生ごみの水切り”から始めましょう！**

★ 水切り方法等の一例をご紹介します。

- ① “手” でしっかり握ってしぼる。(ゴム手袋を使えば手が汚れません)
- ② “水切りネット” を使ってしぼる。(ペットボトルが水切り棒の代わりになります)
- ③ 生ごみになるものを“できるだけ水に濡らさない”。(逆転の発想です)
- ④ 生ごみを“自然乾燥” させる。(腐敗や悪臭を防ぐ効果もあります)

★ こんな方法を実践している人もいます ★

【Aさん】 果物の皮や芯を新聞紙に包んで、日なたで半日ほど干しています。

【Bさん】 野菜くずを洗濯用のネットに入れ、エアコンの室外機の前に置いて乾かしています。

※ **生ごみの主成分は“水分”**で、その割合は、約 80%にもなります。生ごみは焼却処理をしていますが、水分の割合が少なくなればなるほど処理経費の節減につながります。



《裏面あり …家庭系可燃ごみ検査を実施しました！》

## ～家庭系可燃ごみ検査を実施しました！～

平成 28 年 1 月 12 日（火）に焼却場（環境美化センター）で実施した家庭系可燃ごみ展開検査（職員が手選別にて資源物、搬入不適物を取り出す）の検査結果は次のとおりです。



調査量	約 30 袋
資源ごみの混入状況	
缶	5 本
ペットボトル	4 本
紙類	大袋 1 袋分
プラスチック容器包装類	大袋 2 袋分
布類	枕

検査の結果は、危険物や排出禁止物の混入がなくおおむね良好でしたが、一部リサイクル可能な資源ごみが混ざっていて、まだまだ分別が徹底できていない状況も見受けられました。資源になるもの（特に雑がみ、プラスチック製容器包装類）は、分別の徹底をお願いします。

★ 紙類（雑がみ）は貴重な資源です。

紙類はリサイクルできる貴重な資源です。リサイクルできる紙は、安易に可燃ごみとせず、資源ごみとして出してください。

### リサイクルできる紙（資源ごみ）

- ・包装紙・紙袋・封筒・菓子箱
  - ・ノート・メモ用紙 など
- ※ビニールなどリサイクルできないものは取り除いてください

### リサイクルできない紙（可燃ごみ）

- ・ティッシュペーパー・写真
- ・感熱紙・カーボン紙・紙コップ
- ・金、銀紙の貼った紙（加工品）
- ・たばこ、洗剤の箱類 など

◎ 詳しい分別方法は、ごみの出し方のしおり（ごみカレンダーの裏面）、環境課ホームページなどで確認することができます。